

「岡山大学工学部生物機能工学科 生体素材工学研究室」

岡山大学工学部生物機能工学科 生体素材工学研究室

早川 聡

**“Biomaterials Laboratory, Department of Bioscience and
Biotechnology, Faculty of Engineering, Okayama University”**

Satoshi Hayakawa



Welcome to Biomaterials Lab.

Home Page

はじめに

1996年より、岡山大学工学部生体機能応用工学科から生物機能工学科に学科の改組があり、それと同時に我が生体素材工学研究室内の紹介、広報の手段としてホームページを試験的に開設しました。当初は、大学のホームページ学科のホームページにリンクしているだけでしたが、現在はYahoo! Japanにも登録しています。ホームページの人物紹介のなかの学生紹介の内容は結構充実していると思います。どうぞお気軽にご覧ください。(ホームページ専用として、かつて学生の間で主力であったMacintosh LC475を使用。)

ホームページの構成

研究内容、人物紹介、連絡先の3本柱から

〒700-8530 岡山市津島中3-1-1
TEL 086-251-8212
FAX 086-251-8263

構成されていて、現在は研究室所属の学生さんにアップデートを任せております。

それでは、「ちょっと調子にのってるお兄さんが生体素材工学研究室のホームページを覗いた場合」で紹介しましょう。(実際にはこんな調子でやってるわけではありませんことはご理解下さい。)

岡山大学 (<http://www.okayama-u.ac.jp>)
あるいは、岡山大生物機能工学科 (<http://www.biotech.okayama-u.ac.jp/>) の中の生体素材工学研究室で訪問できます。直接下記を入力していただいても結構です。

<http://apatite.biotech.okayama-u.ac.jp>

英語バージョンもあるみたいだけど、日本語で見てみよう。大学の校章と研究室名の大きな窓の下に見られるのは、研究内容(コンパス、コンピューター、定規マーク)、人物紹介(芸術的猫ちゃんin岡山県地図マーク、たぶん誰にもわからない)、連絡先(郵便ポスト&ファックス付き電話マーク)。他には「ヤングセラミストミーティング中四国のご案内」、「生

物機能工学科のご案内」,「岡山大学 HOME PAGE」,「岡山大学工学部」があります。それじゃまずは、研究内容から覗きましょう。ちょっとクリックしてみましょう。

何々、研究テーマは。“生体組織とよく適合する素材の開発と応用に取り組んでいます。特に、量子化学計算や分子動力学計算で化学結合や原子配列構造をシミュレーションします。その結果に基づいて分子レベルで物質の構造を制御して、よりよい性質の素材を設計し材料としての機能の向上を図ります。”だって、大きな図入りで説明しています。研究テーマは、骨と結合するガラス組成の検索、骨修復材料への生体活性の付与、人工材料と骨の結合機構の解明、生体活性な有機-無機複合材料の合成、セラミックスの化学結合状態と生体活性発現の関係、生体修復素材の計算機シミュレーション、固体 NMR による生体材料と擬似体液の相互作用の解明、生体機能を支援する材料の開発。あっ。アパタイトをクリックすると擬似体液中で材料表面に形成された骨類似アパタイトの走査電子顕微鏡写真がみれる。細かいことに研究室の装置紹介があるぞ〜。そんなにたくさんあるわけないのに、頑張っちゃって。各装置をクリックすると写真が出てくる。装置担当者をクリックすると、その人の人物紹介のホームページにリンクしている。最後に、研究室の蔵書が書いてある。

わくわくするな〜。では次に、芸術的猫ちゃん in 岡山県地図マークをクリックして人物紹介を覗いてみよう。生体素材工学研究室関連スタッフと学生の紹介か。おーっと。研究室関連スタッフ（現在 5 名）の写真が勢揃いではないか。写真をクリックしてみてね。とかいてい

るではないか。それでは、尾坂先生の写真をクリックしよう。尾坂先生の写真はアメリカ人には 40 才くらいに見られたと喜んでいただけ。本当の年は、ホームページに書いています。尾坂先生のホームページが開いた。所属、研究領域、研究テーマがでてる。業績をクリックすると最近の研究業績が一覧できる。電子メールアドレスもついている。これをクリックするとメールを送る画面になる。他の教官についても同様である。

今度は“ここ”をクリックして 4 年生・大学院生の紹介を見てみよう。ここは、研究室に所属する学生及び研究員の情報発信の場のような。これも写真入りだあ。クリックすると何がおこるのか？ なんか恐いけど勇気をだして見てみましょう。（学生個人のホームページはたまに教官も把握していません。いけない写真以外の公開は許可してます。）学生個人のプロフィールとこれまでの学会での研究発表も書いてある。電子メールアドレスもついている。卒業・修了生の紹介もあるんだって。連絡先（郵便ポスト&ファックス付き電話マーク）をクリックすれば連絡先がわかる上、研究室全員にメールを送れる。

生体素材工学研究室のホームページはいかがでしたでしょうか。ぜひアクセスして下さいね。何でも意見や、希望を書いて E メールを送って下さい。

尚、個人のホームページ内容は日々変化している状態ですのであしからず。たまに外国からのアクセスが不能の場合があるらしいのですが、おそらくこちらのマッキントッシュがまたまダウンしているためと思われます。辛抱して再度トライして下さい。